

熊本市公立高校入試徹底分析【社会】

【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	50点
問題構成	2024年度と同様に大問6題。地理・歴史・公民の分野ごとに各2題。 地理は、世界地理9点、日本地理8点の計17点。 (2024年度と日本地理と世界地理の配点が同じ。) 歴史は、近世までで9点、近代以降で8点の計17点。 (2024年度とは近世までと近代以降の配点が逆。) 公民は、政治分野8点、経済・国際社会8点の計16点。 令和7年度の問題は、昨年同様に平均点が高く、取り組みやすい問題であったと言える。		

	令和7年度(2025)	令和6年度(2024)	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)	令和3年度(2021)
問題量 (A4で)	11ページ分	11ページ分	11ページ分	11ページ分	11ページ分
小問数	44問	43問	45問	41問	42問
論述問題の数	7問	9問	10問	8問	9問
論述問題配点	13点	16点	15点	14点	15点
受験者平均点		28.6点	24.9点	21.7点	23.6点

【出題の傾向と対策】

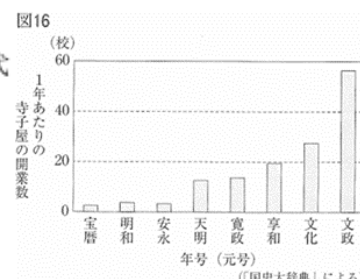
① 図や資料を見て、そこから読み取れる課題や変化・特徴を記述させる論述問題が、分野問わず多く出題される。図や資料から読み取れる内容を正確に、かつもれなく読み取って、記述する必要があるため、過去の入試問題を5～10年分ほど解き、書き方を練習しておく。

R7 3

5(2) 江戸時代後期には、庶民を中心とした文化が広がり、さまざまな本が庶民を対象に出版されるようになった。図16は、宝暦年間(1751年～1763年)から文政年間(1818年～1829年)にかけて、1年あたりの寺子屋の開業数の推移を、年号(元号)ごとに示したものである。江戸時代後期に多くの本が出版されるようになった背景として考えられることを、図16を参考にして書きなさい。

① 今年は、大問1の3(2)や大問4の3(2)、大問5の4、大問6の5でも類似の形式が出題されている。

① 寺子屋が「読み・書き・そろばん」を教える施設であるという知識をもとに、寺子屋が増えることで文字を読める庶民も増えたと考える。



② 地理分野で、表の内容から国名や都道府県名を答える問題が出題される。統計を覚えるとともに、持っている知識から推測する練習として、多くの問題に触れておく必要がある。

R7 2

4(2) 表13は、京都市、堺市、仙台市、千葉市、広島市における人口、夜間人口に対する昼間人口の割合、工業製造品出荷額、東京からの距離を比較したものである。仙台市と広島市に当たるものを、表13のア～オからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

② 選択肢がどこになるか書き出す。確実にわかる大きな数字や小さな数字など特徴的な数字から考えていく。

② 百万都市の京都市、広島市、仙台市がア～ウ。百万都市ではない千葉市、堺市がエかオとわけて考える。百万都市の中で人口最少の仙台市がウ。残りの百万都市のうち東京からの距離が遠いのが広島市、百万都市で残ったアが京都市、百万都市以外で人口最多の千葉市がエ、残ったオが堺市である。

表13

項目	人口 (千人)	夜間人口に対する 昼間人口の割合(%)	工業製造品 出荷額(億円)	東京からの 距離(km)
都市名				
ア	1385	108.4	26207	371
イ	1185	101.1	27762	682
ウ	1067	105.1	10128	303
エ	977	98.1	12835	32
オ	821	94.1	42306	409

(2020年国勢調査、「データでみる県勢2024」による)
(注) 東京からの距離は、東京駅から各市の市役所までの直線距離を示している。

③ 歴史分野でも、歴史的な事象に関する資料や地図を用いた問題が毎年のように出題される。社会 の学習をする際は、教科書や資料集、地図帳を必ず活用し、場所や位置を確認しながら勉強する。

R7 4

2(2) 下線部③(アジア)について、資料19は、東アジアで1894年におこった戦争のようすを描いた風刺画であり、当時の国際関係が2羽のニワトリとクマによって表されている。資料19の a , b に当てはまる国名として最も適当なものを、次のア～ウからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 清 イ 朝鮮 ウ ロシア

③ 1894年におこった戦争とあることから日清戦争の風刺画であると考え。朝鮮をめぐる争う日本と清に対して、その隙をうかがうロシアという構図は有名なビゴアの風刺画と同じ構図である。ただの資料として覚えるのではなく、その資料が何を意味しているのかを理解しておく必要がある。

③ R6では、第一次世界大戦のヨーロッパの地図、R5では、ペリーが来航した浦賀の場所、R4年では、朝倉氏の一乗谷の場所、R3年では、ポーツマス条約後に引かれた国境線、R2年では、石見銀山の場所、H31では、盧溝橋事件がおこった場所が問われている。

資料19



④ 完答の問題が非常に多い。そのため、歴史の出来事、地理の統計、地図の読み取り、公民の語句 など、一つ一つの詳細を正確に覚えておく必要がある。

R7 6

3 下線部③(日本銀行)について、日本銀行の役割に関する次のア～ウのそれぞれの文について、正しいものには○、誤っているものには×を書きなさい。

- ア 日本銀行券とよばれる紙幣を発行する。
イ 企業や個人からの預金の受け入れや貸し出しを行う。
ウ 財政政策を行うことで景気(経済)の調整をはかる。

③ R6には、ア～ウの説明文の下線部から誤っているものを選び、記号を答えるだけでなく、正しい語に改める問題が出題された。

④ この問題はア～ウの○・×が一つでも違えば不正解となる。正誤問題を解く際は、どこが誤っているかだけでなく、どう改めれば正しくなるのかまで意識して勉強しておく必要がある。日本銀行は銀行の銀行であるため、企業や個人との取引はないため、イは誤り。財政政策は政府が行うもので、日本銀行が行うのは金融政策であるため、ウも誤り。R5でも経済分野、R3・4年でも5の法に関する問題で○・×完答問題が出題されている。

解答

R7 3 5(2) (例) 寺子屋の開業が増加したことにより、文字を読める庶民がふえたこと。

R7 2 4(2) 仙台市:ウ 広島市:イ

R7 4 2(2) a:ア b:ウ

R7 6 3 ア:○ イ:× ウ:×